

## ◆杉本伊佐美著 福井県の新聞史

(フェニックス出版刊、B六判)

定価一、五〇〇円)

南越文化財研究協議会長の杉本伊佐美氏(鯖江市河和田)による著作である。

内容は明治以降の県下の新聞発展の様々な動向を中心としたもので、特に自由民権運動の主導者、杉田定一の新聞活動はじめ、新聞の統制・弾圧、さらに「福井新聞」・「福井日報」・「新福井日報」など地元新聞や県外新聞の注目すべき多彩な動向について詳述する。また新聞業界のめまぐるしい変遷を時代的背景に関連させながら、軽妙なタッチで紹介している。

一方、杉本氏がかって長年の記者生活

を通しての政界や警察部内の裏話やエピソードを付記しており、はなはだ興味ぶかいものがある。

青年時代から県下でベテラン記者として勇名を馳せ、当時の貴重な実践と経験をふまえているだけに、きわめて迫力に富んでおり、特に本県の近代以降の社会史、世相史的な重要意義をになうものとして、高く評価すべきであろう。

なお杉本氏には、これまで『若越民謡集』はじめ数多くの著作があり、近くは『回想・河和田の里』の労作がある。

(三上記)